資料１

第６期障がい福祉計画の基本的な考え方に係る関係団体へのアンケート調査結果

１　意見提出　　３６件

【内訳】

区分	件数
①当事者	１６件
②支援者	６件
③家族	２件
④事業者	７件
⑤団体職員	５件
⑥その他	０件

２　意見内容

（１）計画に対する意見

区分	主な意見
・計画全体について	・障がい者の意見を聞いて欲しい。 ・障がい福祉計画の検証をどのように行い施策に反映しているのかわからない。 ・障がいのある方々を支援するためには、多職種間の連携が大切。 ・地域格差の解消 ・コロナウイルス対策について記載すべき
・権利擁護の推進	・精神障がい者への差別解消の取組が必要
・地域生活支援体制の充実について	・重度化した障がい者も安心して暮らせる生活の場の拡充が必要 ・地域生活支援拠点の整備について、市町村にメリットがある施策が必要 ・地域生活支援拠点の広範な業務や責務に比して権限がないのが課題 ・相談支援において、連携による成果に対するさらなる評価が必要

資料１

区分	主な意見
・北海道意思疎通支援条例・手話言語条例の施策の推進	各種サービスにおける地域格差の解消 ・代筆・代読サービス事業の実施 ・日常生活用具の品目　など
・サービス提供基盤の整備	・高齢者と障がい者の施設の両立を検討すべき ・多床室から個室、特浴設備の設置等の施設整備費の予算の確保
・障がい児支援の充実	・重症心身障がい児を支援する児童発達支援事業所及び放課後デイについて、各市町村に１カ所以上整備が必要
・発達障がいのある人や医療を必要とする人等への支援	・短期入所、緊急一時保護、レスパイトサービスの不足、家族支援等の充実が必要 ・教育や福祉の連携をもっとスムーズに行えるようにして欲しい。 ・医療的ケア児者コーディネーターの役割の明確化 ・医療的ケア児コーディネーターの広範な業務や責務に比して権限がないのが課題
・精神保健福祉・医療施策の充実	・地域包括ケアシステムの構築にあたり、行政の役割を明記し、姿勢を示すべき。
・就労支援施策の充実・強化	・工賃の向上が必要
・多様な人材の確保・養成及びサービスの質の向上	・実際に実現できるような具体的な計画が必要 ・研修に参加しやすい体制づくりが必要 ・事業所の取組や採用人数を評価する仕組みが必要

（２）その他要望事項等

・交通運賃の割引
・年金額、生活保護費の増額
・障がい者が休日に集まれる場所が欲しい
・聴覚障がい者関係 報道機関に対して、字幕・手話通訳の同時放送の体制整備 小・中・高へ手話教育の導入　など
・精神医療費助成拡大
・ショートステイ、グループホームの早期設置
・障がい者支援施設における強度行動障がい者の支援について、相談できる医師の指定